

# トップメッセージ



## JALUX「第二創業期」を迎えて。

代表取締役社長 横山善太

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
私は、2001年6月よりJALUXの経営の一翼を担ってまいりまして、  
2002年4月に社長に就任いたしました。

JALUXは、社会から厚い信頼を得られる、より身近な「生活提案企業」  
として、一層の飛躍を期すべく、2002年2月に東証2部上場を果たし  
ました。

そして、上場企業としてはじめての決算報告を申し上げる次第でござ  
います。創立40周年の節目に、このようなかたちで「第二創業期」  
を迎えられたことは、ひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝いたし  
ております。

### 当期の概況

2002年3月期は、いわゆるIT不況や、未曾有のテロ事件の発生など...、  
厳しい状況が続いてまいりました。航空マーケットや航空旅客を主要ター  
ゲットとするJALUXにとっては、特に厳しい環境下の1年でございま  
した。しかしながら、変化する顧客動向に対応したマーケティングや、  
好調を維持した国内線マーケットへの積極的な対応などにより、連結

売上高は前期と同水準を維持し、売上総利益は同103%の増益とな  
りました。一方で、社名変更や上場に伴う特殊費用などもあり、経常  
利益は同91%、当期純利益は同72%となりました。

以下、セグメント別の営業成果を、売上総利益の増減でご説明いたし  
ます。

**航空関連の売上総利益は、前期比103%、6,900万円の増益**  
旅客数の減少により、航空客室用品などの需要は一時的に低下いた  
しましたが、航空マーケットにおける部品や中古航空機の需要は堅  
調で、増益となりました。

**生活関連の売上総利益は、前期比101%、6,700万円の増益**  
一般市場の消費低迷により、ワインや宝飾品の需要は低下いたしま  
したが、独自のチャンネルで付加価値を提供するカタログ通販やWeb  
モールではオリジナル商品が好調に推移し、増益となりました。

**顧客サービスの売上総利益は、前期比103%、3億1,600万円の増益**  
旅客数の減少にもかかわらず、「JAL/DFSデューティーフリーショッ  
パーズ(国際線免税店)」や「BLUE SKY(空港一般店舗)」は、マー  
ケティングの奏効により、増益となりました。

### 来期の見通し

2003年3月期においては、サッカーワールドカップ開催などを視野  
に入れた、空港基盤の整備により、航空旅客輸送の供給拡大が見込ま  
れます。また、それらとあいまって、2002年3月期に減少した、国際  
旅客需要の回復も見込まれ、2001年3月期並みの水準に回復するこ  
とを予想しております。

これにより、航空マーケットや旅客をターゲットとする、航空関連事業や、  
空港店舗を中心とする顧客サービス事業の増益(売上総利益)が見込  
まれます。

さらに、2002年3月期に好調であったWebやカタログによる通信販

売などの、成長分野へ経営資源を投入し、商品開発力とマーケティング  
力を強化することにより、生活関連事業の増益も見込まれます。  
JALとの取引の一部における、売買方式から業務受託方式への収入  
計上基準の変更により、売上高は前期比93%となりますが、実質的な  
営業成果となる売上総利益は同107%、経常利益は同114%、当期  
純利益は118%と、利益面においては増益を見込んでおります。

これからも、経営資源の戦略的な活用により、企業価値の最大化を目  
指し、「Challenge & Change - Yes, we can」の精神で、皆様  
のご負担にこたえるべく努力してまいります。引き続き、一層のご理解  
とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

### 財務ハイライト(連結)

